

秋田県内在住の産業カウンセラーの皆さん、こんにちは！ 回覧板秋号をお届けします！

## リレー投稿『人はいつ死ぬのが ちょうどよいのだろうか』-7-

佐藤真美（秋田ふれあいこまち会）

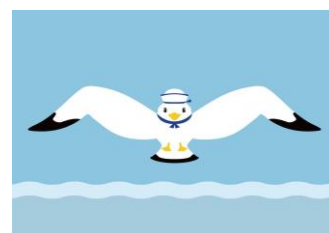
最近、母が亡くなった。94歳だった。世間では大往生と言うらしい。ここ数年、認知症がすすみ施設で生活していたが、私の訪問をいつも楽しみにしてくれていた。ところが、ある日、私の顔をまじまじと見つめ、よそ行きの言葉で「私の娘に似ております。娘は頑張り屋で、私はもう追いつけません」と言った。その瞬間、私は周囲に人がいることも忘れて号泣してしまった。

母と同じテーブルについていた二人の利用者は怪訝そうに私を見ていたが、穏やかで優しい表情になって私に何か声をかけたそうだった。

そんな母が脳内出血で病院に運ばれ医師から「今夜がヤマですな」と言われた。いよいよその時がきてしまった・・・と思いながら母のそばについていると、家族は一旦、家に帰ると言うことで結局、私一人が病室に残ることになった。消灯された病室は母の呼吸音が聞こえるだけ。こんな静かな時間はいつ以来だろう。不思議な思いが湧いてきた。母は今、人生を閉じようとしている。一人の人間としてこの世界から消えようとしている。でも、だれも悲しんでいない・・・。94歳だから？周囲は本人のそばにいるよりも葬儀の準備の方が気になるらしい。

94歳は十分に生きたということなのだろうか？認知症になって過ごした母は長く生きずぎたのだろうか？私は母の耳元で歌うことにした。私が小さい時に母がオルガンを弾きながら歌ってくれた「カモメの水兵さん」、母が30歳代の頃によく歌った「ここに幸あり」。この2曲を繰り返し歌った。薄暗がりの中で母と二人で過ごした時間が、私の心を静かに静かに温めてくれ、ああ・・・こんなに穏やかな気持ちになるんだ・・・親とはどんな存在なのか、この一晩でやっと気づいたように思う。死には早すぎる死、無念の死、人々に大きな衝撃を与える死などさまざまな形がある。本屋の棚には老いや死についての本があふれている。死んだことのない人たちが悔いのない死に方について論じている。終活とも呼ばれたりするが、著者は誰にむけて書いたのだろうか。

因みに母は文字通り「ろうそくの灯が消えるように」逝った。看護師さんが「頑張りましたね」と声をかけて下さった。仕事柄、誰に対しても同じ言葉をかけるのかもしれない。でも、今日の看護師さんは母の頑張った人生に敬意をはらって、言葉をかけてくださったのだと私は思った。



# 県運営部・学習グループ等活動状況

## 🌻こまち会 8月定例学習会

日時 8月10日(土) 9:30~12:30  
 会場 秋田市中心市民サービスセンター  
 「センタース」洋室4

参加者 8人  
 テーマ 事例検討・面接実習②「カウンセリングの質を上げるために～クライアントを評価する、クライアントの評価を聴く」  
 担当 渡部 昌平 先生

\* \* \* \* \*



**県運営部・こまち会  
 合同忘年会のお知らせ**  
 日時：12月21日(土)  
 17時30分頃開始  
 場所：秋田市内(詳細別途)  
 幹事：高橋昌明氏  
 :こまち会懇親会幹事  
予定に入れておいてね!!



## 🍇こまち会 9月定例学習会

日時 9月1日(日) 9:30~12:30  
 会場 秋田市中心市民サービスセンター  
 「センタース」洋室4

参加者 13人  
 テーマ 事例検討・面接実習③「カウンセリングにおけるメッセージ～受け取り方と伝え方」  
 担当 浅沼 知一 先生

\* \* \* \* \*

## 🍌こまち会 10月定例学習会

日時 10月6日(日) 9:30~12:30 会場 秋田テルサ第2会議室  
 参加者 18人

テーマ 部外講師による講演「秋田産業保健とメンタルヘルス・精神科的治療」  
 担当 秋田産業保健総合支援センター所長さいとう神経科クリニック院長 齊藤 征司 先生

\* \* \* \* \*

## 🍷ワインカウンセリング

日時 10月13日・14日  
 会場 六郷温泉あつたか山  
 参加者 10人  
 内容 B B Qと生ライブ、御嶽山トレッキング

\* \* \* \* \*



## 🌿協会「働く人の電話相談室」兼 秋田県『自殺予防デー』街頭キャンペーン(チラシ配り)

日時 9月10日(火) 7:00~8:00  
 会場 J R秋田駅東西自由通路  
 参加者 4人